

令和6年8月27日開催岡山市子ども・子育て会議 第1回放課後児童クラブ部会議事録

日時：令和6年8月27日(火) 午後3時11分～午後4時10分

場所：岡山市勤労者福祉センター5階 中会議室

【開会】

○部会長挨拶

○岡山っ子育成局長挨拶

○成立確認・・・委員7名中6名出席にて定足数を充足し、成立を確認。

【議事】

議事進行は部会長

【傍聴希望者確認】

2名の傍聴希望者を確認。傍聴を認め、入室。

議題（1）放課後児童クラブの待機児童、量の見込み、受け皿確保について

〔事務局から資料に沿って説明〕

○部会長 ご質問、ご意見、ありましたらお願いいたします。

○委員 資料4ですが、新規開設運営安定化補助の創設というのは、具体的にどんなものなのか教えていただけますか。

○事務局 民間事業者が新規で児童クラブをオープンする場合に、すぐに定員が埋まるわけではなく、児童数が定員に達するまでの間に収入がないということを心配される事業者さんがございます。そこが安定するまでの間に、伴走的な支援ということで補助を出そうと計画しているものです。金額等、詳細については予算に関わることなので、また次回以降とさせていただきます。

○部会長 ほかにございますか。

○委員 待機児童の件で、今、私の娘が4年生で、児童クラブに1年生から4年生までお世話になっております。2年生から3年生まで保護者会の会長をしていた関係で、子どもが4年生ぐらいになると夏休みだけの利用で十分だが、期間限

定利用にすると優先順位が下がるから、通年利用で申し込み、夏休み明けに児童クラブをやめる方が多いと感じていた。児童クラブになんとしても入りたいがための手段で、お金はかかるけれども、仕方がない。高学年になると、普段授業の後にはほとんど利用しないが、夏休みはずっと朝から晩まで子どもを1人にしておくことが難しいという人がある。そして、夏休みが終わった後に定員に空きが出て、追加募集がかかっているようなケースがあると思う。その本当は夏休みだけでいいと考える人のデータを取ると、夏休みだけなら働けるという主婦の方の募集をして、職員の確保も出来るのかなと思う。

もう一点、子どもが通っている石井小学校の児童クラブというのが、岡山市立のクラブで唯一二次募集から始まるクラブであり、入所の決定通知が来るのが3月22日頃になり、親としてはクラブに入れるか毎年ときどきして待っている状況が続いている。また、児童クラブの先生方もクラスを決められない、準備ができない。クラブ説明会も3月25日ぐらいに行っており、その後4月1日から入所になるという、先生にとっても児童にとってもあまりよくないスケジュールだと感じている。クラブの先生方が毎年、市やふれあい公社に、入所決定を前倒しにできないか言い続けていると聞いたので、保護者の声として上げさせていただく。

○部会長 石井小学校の特殊な例のようですが、事務局は状況をつかんでいますか。

○事務局 現在一次募集を10月から11月にかけて行っておりまして、そこではまず年間を通して利用される方の募集をしております。その結果、まだ定員に空きがあるクラブについては、2月に二次募集を行っております。そこで定員に空きがあれば、さらに随時募集をしております。一次募集では通年だけ申し込んで、二次募集で通年プラス期間限定の方も定員に空きがあれば申込みを受けてるという状況で、先ほど委員さんが言われたのは、定員に空きがないと期間限定の申込みができないということで、夏休みだけでいいのに入りやすい通年のほうで申込みをされている方がおられるのではないかとということだと思えます。

石井小学校についてはイメージ教育がありまして、学区外から通われる1年生もおり、その入学決定が年明け1月ですので、その1年生もクラブを利用できるようにということで、今までは石井に限っては二次募集の期間で、通年と期間限定を併せて申請を受け付けていた状況でございます。

- 部会長 イマージョン教育があるからやむを得ないわけですね。
- 事務局 そうです。クラブの職員やふれあい公社さんからも伺っており、現在来年度の利用ガイドを作成しておりますので、どういう対応ができるか相談してまいりたいと考えております。
- 委員 イマージョン教育自体はとてもいいと思いますが、入学決定の時期を調整していかないと、一つの石井小学校という学校だけですけど、児童クラブは今の状況になっているのかなと。また、1年生のときは入学決定が遅いから仕方ないと保護者も思っているようですが、2年生以上になってもずっと同じスケジュールということについては、何か取組をしていただきたいと思いますので、ぜひお願いいたします。
- 部会長 貴重なご意見です。以前は住民基本台帳の人口で学級数が決まっていた、学校の人事がやりやすかった。学級数が決まれば、学校の定数も決まって、それで教員人事もできた。ところが今は児童数が1人変わると、2学級になるかどうかという、そういうケースが最近増えていますね。だから、いろんなところに影響する問題のようですね。
- 事務局 今回いただいたご意見は、過去にもいただいております。少しでもよくしていこうと考えておりますので、引き続き検討したいと思います。
- 部会長 ほかに何かございますか。
- 委員 私も4年生の女の子がおり、すごく楽しく行かせていただいている、本当にありがたいなと思っています。来年5年生になるが、女の子だから家にひとりでいさせることが心配で、来年も利用の検討はしているのですが、よく聞くのは男の子について、外で遊びたいけども夏は外遊びができない環境が多いと思う。しかし、クラブを利用していない児童であれば、外で遊んでいる子もいるわけで、待機児童が何人かということの資料の中に、男の子と女の子の差も考えていただいてもいいのかなと思いました。
- 需要が増えていくことに対応していくことはすごくいいと思いますが、5・6年生の遊び、夏休みの遊びということに対しても、今後保護者としてはどう対応されるのか気になっており、子供たちが育っていく環境をどういうふうにされていくのか、子供が充実して、安心して過ごせて、「5・6年生になったらクラブはやめようかな」とならず、5・6年生になってもクラブに来てもら

いたいという方向性で整備していくのだろうと思っているので、ぜひ低学年目線だけではなくて、高学年にも目を向けた環境の充実を目指していただきたいと思いました。

○事務局 貴重なご意見をありがとうございます。男女比という統計は事務局の中でも出していないので、状況を把握してどのような施策が打てるのか考えていく必要があるかと思います。ご意見は参考にさせていただければと思います。

また、遊びに関しては、支援員が遊びについての研修を受講したり、放課後子ども教室に児童クラブから参加したりということもあり、そのような部分を活用しながら、お子さんが元気に健やかに育てるように支援をしてみたいと考えております。

議題（2）放課後児童クラブの環境、子供の居場所、その他について

○部会長 他にありますか。

○委員 ふれあい公社の事務局から委員として参加しております。いつも児童クラブは、いろいろご意見をいただいてありがたいと思っています。夏休みの遊びについては、どうしても暑さ指数に対しての熱中症対策があるので、夏休みの日中は気温が高過ぎて、子供を外に出すことはほとんどできてない状況です。室内の中でできる遊びをするしかない状況。今、地域子育て支援課を通じて、学校にも空調の効いている部屋で子供たちが分散して過ごせるよう協力していただいているのですが、これは個人的な意見ですが、体育館にクーラーをつけていただくと夏休みも使えるのになつていうことはすごく思っている。実は操明小学校は岡山ふれあいセンターと近く、岡山ふれあいセンターには人数が300人ぐらい入るような大きな体育館みたいなのところがあるのですが、そこに操明小学校の児童クラブの児童が遊びに来ました。空調の効いた涼しいところでいっぱい遊び回ることができて、すごく楽しかったと言っていました。

操明小学校からは子供の足だと五、六分で、遠くないので実現できましたが、夏休みの遊びについては我々も難しく感じている。バスに乗って毎日どこか涼しい施設に行くわけにもいかないのが、夏休みに学校で遊べる工夫を毎日試行錯誤しているところ。

- 部会長 退職校長先生、再任用で児童クラブを回る先生がいらっしゃいますよね。今は何人ですか。
- 委員 今は3人で全市を回っていただいて、今年度は、通常は1か所ずつ、夏休みは2か所ずつ回っている。学校との連携では、校長先生に会いに行っていたりしており、助かっています。
- 部会長 そのうちのお一人は私がよく存じ上げている先生で、聞いて分かったのですが、もっと大勢だったら支援員の先生方の子供への関わりのヒントがいっぱい言えるかなと感じた。
- 委員 そうですね。
- 部会長 私はボランティアで県の退職校長会の会長もさせていただいているので、退職された校長先生方にボランティアで児童クラブへ行ったらどうかということをおっしゃるかと思っている。
- 事務局 それはありがとうございます。ぜひお願いします。
- 部会長 校長先生は子供と関わることを38年以上やってきたわけなので、経験を活かしたらどうかということをおっしゃっている。実現できるか分からないが、児童クラブでいい過ごし方をすると、次の日の学校経営もよくなっていくんじゃないかと感じているので、お願いしようと思っている。
- 事務局 5・6年生の話が出たのですけれども、今5年生が全児童数の約11%、6年生が約6%来られている。これを今までの需要増加の見込みやアンケート調査を基に統計的に計算して、令和12年は5年生が3割、6年生が2割まで一応見込んでいます。かなり余裕を見たつもりなのですが、高学年になったら5年生の夏休み終わりでクラブをやめるとか、多いと思うのですけれどもいかがでしょうか。やはり5・6年生の需要はまだ増えそうですか。
- 委員 フリー塾を夏休みに地域で実施していたのですが、低学年が学童に行く方が多く、5・6年生が大人と関わりたいからといってフリー塾に来ていたという傾向がいろんな地域で見られた。5・6年生は親としてはもうクラブはいいかなと思っていても、子供はそうは思っておらず、やはり誰かと一緒にいたほうが安心した居場所になるのかなと思った。
- 事務局 子供は行きたいと思っているということですか。
- 委員 高学年でクラブには行かないという意思表示で、家にいるって言うてしまう

のですが、実際フリー塾には来ていた。なので、今後は高学年の子供たちについても考えていかないといけないと思った。親は働くけども、子供は学童にも行かないとなると、一番多感な時期に大人が見守らない状態なので、学童をぜひ5・6年生も使えるように。

○委員 なかなか低学年と高学年が一緒に遊ぶっていうのは実際のところ難しく、危険もある。ニーズとしては夏休みを中心に4～6年生も預けたいという保護者の方はいらっしゃるので、子供の居場所が児童クラブだけいいのかというところは、真剣に大人で考えていかないといけないのかと思う。

子ども教室は市内に多くあるわけではなかったと思うが、横浜市なんかは上手にその数を増やしているようだ。そういうものも参考にしながら、民間事業者も活用しつつ、教育委員会や岡山っ子育成局や我々関係者も一緒に考えていかないといけないのかなと思う。

○部会長 他の委員さん、5・6年生に関わっておられるそうですが。

○委員 先ほど言われたように、高学年になるとそれぞれが個々の思いを持っていると思うので、一概にというわけにはいかないのですが、夏休みがこれだけ暑かったら、保護者は家に子供だけで置いておくのは心配だと思う。子供は何か熱中すると暑さを忘れてしまって、あまり気にしないので。家の中で脱水症になるまでゲームをするかもしれないとか。生活の切替えや体調面も含めて、やはり誰か大人が見てくれ、いろいろなことが体験できるというメリットがあることを考えると、ニーズは増えてくるのかなと思っています。なので、こういうふうには2割、3割というふうにある程度今よりも枠を増やして考えるというのは、いいと思っています。

今日の議題と多少ずれるかもしれないのですが、受け皿の量についてかなり頑張ってくださいと感じた。10年前に比べれば4,000人ほど利用者が増えているということなので、大変だと思いますが、それでは建物の中の人口密度はどうなのかなというあたりが気になる。1,000人規模の学校と100人規模の学校のそれぞれの児童クラブで、建物は10倍あるかというところではないのかなと。そうなってくると、そういう大規模な学校の待機児童が増えており、クラブの中が人でいっぱいというあたり、そこで過ごしている子供たちが快適に、安心・安全に過ごせる環境になっているかということをお忘れはいけません。

のかなど。だから、もちろん待機児童数を減らすという目標に向けてすごく頑張ってきているが、待機がゼロになれば終わりではなくて、子供たちの過ごす環境ということを少し心配しています。

それから、子供たちがタブレットを当たり前を持って動くようになります。3年生以上ですけれど、2学期からは毎日の持ち帰りも始まったときに、今度は学童クラブの中のタブレットの使い方、使用の決まりなんかについても課題やトラブルが今後出てくるのではないかと。今、Wi-Fi環境もあったり、なかったりではないかと。

○事務局 児童クラブのWi-Fiの環境ですが、2学期からは委員がおっしゃるように3年生以上はタブレットの持ち帰り学習をするということで、7月から8月にかけて、各クラブにWi-Fiの環境を整えようとしています。今月中には全クラブWi-Fiが使えるように環境整備いたしましたので、その点は心配ないかと思います。一方で、トラブルになりそうなことも予想されますので、ルールづけをしっかりと、もめごとがないように環境を整えていきたいと思っております。

○部会長 いいご意見をありがとうございました。保育のときも量から質に話題がどんどん深まっていったが、やっぱり放課後児童クラブも質のほうへ移っていくと感じています。今後の課題が明らかになったということで、時間がきましたので、市の待機児童をゼロに持っていくという意気込みは共通理解できたところで、閉会したいと思います、よろしいでしょうか。

○委員 最後に1つだけ宣伝をさせていただいてもいいですか。

○部会長 はい。

○委員 これは支援員の募集のチラシですけれど、裏にInstagramとティックトックの紹介があります。児童クラブの支援員がこういった職業なのかというところを中心に宣伝していますので、よかったら見ていただけたらと思います。よろしくをお願いします。

○部会長 いいものを作っていただいてありがとうございます。それでは閉会といたします。

閉会